

【緊急】縮小保育の要請について（再）

うるま市長 中村 正人

新型コロナウイルス感染症拡大防止にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

現在、沖縄県内で非常に感染力の強いデルタ株による感染が急拡大しております。

うるま市においても、保育施設等の職員、園児の感染者が急増している状況であり、これまでに33か所の施設が休園となっております。

「いつどこでだれが」感染してもおかしくない状況となっております。

このような状況を受け、利用者みなさまに以下のとおり、お願いします。

保護者のみなさまへの大切なお願い

- 児童とご家族の毎日の健康観察にご協力ください。
- 児童や同居家族に体調不良（発熱、咳、鼻水等）の症状がある場合は、登園自粛してください。
- 同居家族に陽性者、濃厚接触者（疑い含む）のいる場合は、登園自粛してください。
- 児童の感染者も増えております。感染リスクを避けるためにも、育児休業中等で家庭保育が可能な場合は、登園自粛してください。
- 保護者が休みの日は、外出等を控えて登園自粛してください。

保育施設へのお願い

- 児童、職員、その家族の毎日の健康状況の確認を実施してください。
- 行事等（誕生会、祭り、遠足、お泊り、運動会など）は、延期または中止してください。
- 職員が密になる研修等は、中止または延期してください。
- 今一度、園内でのマスク着用、感染対策を徹底してください。

大切なお子様や家族の命を守るため、重ねて家庭保育のご協力をお願いします。

○縮小保育要請期間○ 現在～緊急事態宣言期間中

〈受け入れ対象児童〉

保育の対象は、下記（ア）から（ウ）のいずれかに該当し、かつ休暇取得が困難な場合とします。

- （ア）医療など社会生活（警察、消防等）の維持に必要な業務の従事者
- （イ）社会福祉施設等の従事者
- （ウ）やむを得ない事情のある人

※ やむを得ない事情とは、休むことにより著しく収入が減少する状況を想定しております。

上記以外で保育を必要とする場合は、施設へご相談ください。

※無症状の陽性者が増えており、「いつどこでだれが」感染してもおかしくない状況となっております。罹患者や職種（医療従事者等）に対する、偏見や差別は絶対に行わないでください。